

シルバー 安全だより

第27号

平成16年1月1日

(社)日向市シルバー人材センター

安全管理委員会

年 頭 所 感



安全管理委員長
井上 繁

皆様明けましておめでとうございます。毎年年頭に思うことは、今年こそはと決意を新たにすることです。昨年を反省しますと12月1日時点で傷害事故が9件、平成14年度は7件、平成13年度9件と増加しています。昨年11月に傷害事故2件が発生したので「安全だより」の臨時便26号を発刊し、会員の皆様方に事故の重大性と啓蒙と意識の向上を計ったのですが、結果は効果は表れず、2件の事故が発生しました。それはバイクの転倒事故と脚立からの転落の2件です。これの防止策として、体の機能低下をよく認識し自覚することが大切だと思います。12月1日の樹木伐採した枝木が落下、市道にいた作業員の女性が右足指骨折した事故は、十分に周囲の状況を確認した後、作業をすれば防げた事故です。作業前にグループの班長さんと班員とのミーティングを十分に確認してから作業にかかるように習慣づけて欲しいと希望します。あの時「ああして」「こうして」置けばよかったと思うより、気付いたらすぐ、少しでも早く注意をすれば事故も未然に妨げるはずです。作業には「ヒヤリ」「ハット」は付き物です。事前によく話し合い確認して適正な就業をお願いし、事故「0」を目指しましょう。平成16年度は閏年です。オリンピックの年でもあり、何か心が「沸き立つ」ようで前途に希望を持たせてくれる年です。皆様とともに健康で楽しい年であることを祈念いたし、年頭のご挨拶といたします。

11/21 途上中(交通事故)・12/1 就業中と傷害事故発生!!

事故発生件数
9件と多発
しています。

※1件目～7件目は
26号に掲載してあります。

件数	発生日時		場 所	原 因	事故処理状況
8	H15・11・21(金) 午前8時10分	途上中 男 63	新生町の 県道	バイク運転中、車と衝突 し、頸椎ねんざ、打撲	日向病院 入院中
9	H15・12・1(月) 午前10時	就業中 女 75	日向台の 市道	伐採した木が右足指に 落下し骨折	千代田病院 入院中

事故と
その防止対策

就業中		
仕事の種類	事故の内容	防止対策
伐採作業	伐採した木が 右足指に落下した。	①就業開始前の打合せ(安全の確認)をする。 ②作業場の四囲確認をする ③作業下での作業は厳禁

就業途上		
利用車輛	事故の場所	防止対策
バイク	道路走行中	①安全な速度で進行 ②歩行者・自転車等の動静に注意 ③前方の安全確認

※シルバー安全だより
「臨時便26号」を
発行しました。

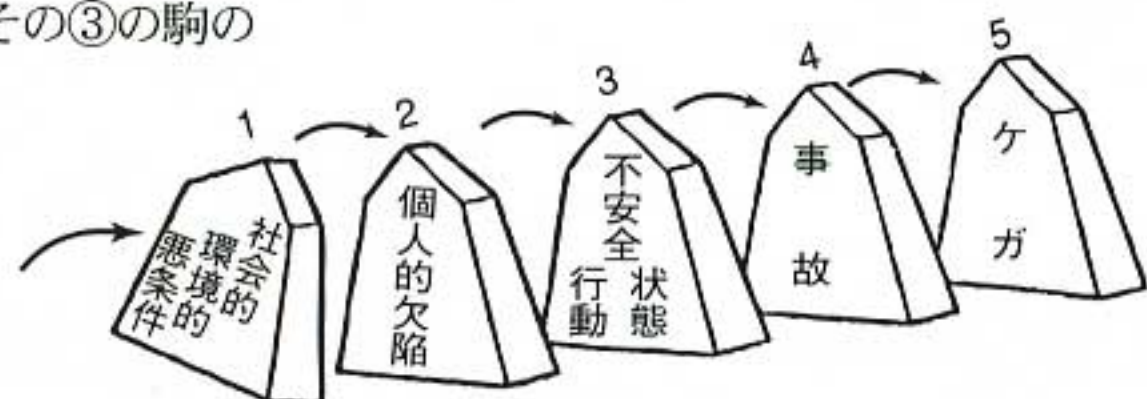
傷害事故に遭遇しないために自己防衛

事故の発生メカニズム

ハインリッヒの五つの駒

「ハインリッヒの5つ駒」というのは、①社会的環境的悪条件 ②個人的欠陥 ③不安全状態、行動 ④事故 ⑤ケガを指し、事故はこの5つの駒が図示のように①から連続的に作用した場合に(将棋倒しになる)発生するとする。しかし、この過程のうち、1つの駒を取り除けば(将棋倒しを防げる)傷害事故は発生しない。ハインリッヒは③の駒を取り除くことが事故防止上有効な手段であると言っています。

その③の駒の



ヒューマンエラーをなくそう！

ヒューマンエラーとは、誤認や誤作動、行動ミスやエラーのことをいいます。

ヒューマンエラーの要因

1.危険軽視、慣れ

『ついうっかり』といった動作やその集団特有の悪習慣から発生。

2.近道本能、省略本能

動作・行動の簡素化によるエラー

3.無知、未熟練

生半可にしか知らなかったことなどによるエラー

4.単調反復動作による意識レベルの低下

単調な動作の繰り返しによる意識の低下に基づくエラー

5.錯覚

見間違いや聞き違い(外的要因)と、思い込みなどの間違い(内的要因)を含む

6.中高年令者の機能低下

40歳頃から自覚しないまま忍び寄る機能低下から生じるエラー

7.場面行動

一点に集中して周囲の状況が見えなくなることによる動作・行動のエラー

8.緊急時のあわて、パニック状態

非常な驚き、驚愕反応における動作、行動のエラー

9.疾病、疲労

以上の要因が相互に関係する場合もある。就業中の注意力を効果的に喚起するためにタイミングや方法に参考になると思います。

安全第一などと唱えているだけではダメで、具体的な行動(例えばヘルメットを着用するとか)を通じて安全を表現(看板・セーフティコーン設置とか!)できるようにすることが必要ではないでしょうか。

もうひとつ、ミーティングの励行を義務化!

作業にかかる前に、ミーティングでその作業にひそむ危険を短時間で話し合い。

「これは危ないなあ」と危険に気付き

これに対する対策を決め、行動目標を立て、一人ひとりが実践する。

安全パトロール 8/18・9/25・11/17・12/11に実施する。

8月以降、4回のパトロールを実施しましたが、昨年12月末現在で、傷害事故が9件発生いたしております。その中の4件が就業途上の交通事故です。

みなさんも日頃より事故防止には取り組んでおられますが、事故の原因の多くは人的ミスが要因と考えられます。危険の発見が遅れた、危険に気付かなかった、危険ではないと思った等が事故に至った多くの要因だと思います。

安全運転は操作能力より認知判断能力が決め手です。道路や交通の状況をよく見て危険を早めに発見、認知し、そしてその危険を避けるため適正な判断を、更に適正な操作を行うことです。高齢者の事故は出会い頭の衝突、又は右・左折時が多く、特に交差点、及び交差点付近の事故が多いようです。

更に自転車は、歩くより便利で気軽に利用できますが、反面安定性が悪くスピードが早いだけに狭い路地から急に交差点に出た時、また横断歩道を渡ろうとした時、右・左折してきた車と衝突という危険性があります。

みなさん、寒さも日増しに厳しくなりますが、就業途上等にはいつも、より早めに自宅を出てゆとりを持って今年は事故“0”を目指して頑張りましょう。

藤田辰巳副委員長

年末・年始の安全3則

1. 行き帰りも仕事のうち、交通事故に遭わないようにしよう
2. あせらず、急がず、ゆとりをもって安全就業
3. 早寝・早起きで体調管理しよう

平成15年度安全就業全国統一スローガン

安全は シルバーみんなの 合言葉

